

令和5年度
NPO 法人 さいたま市鹿児島県人会
会報 第10号



種子島宇宙センター

令和六年一月十二日午後一時四十四分二十六秒に打ち上げられた

南日本新聞より

H2A ロケット 48 号機



武蔵一宮 氷川神社
(一の鳥居)
花ざかりの梅

令和6年3月

祝 第10号

NPO法人さいたま市鹿児島県人会

現在施工中

石岡市
介護老人保健施設あいあい 移転新築工事



[令和6年3月竣工予定]

つくば市
荃崎中学校
中央棟長寿命化改修工事



[令和6年12月竣工予定]

水戸市
茨城県立あすなろの郷セーフティーネット
A寮棟他新築工事



[令和7年3月竣工予定]

水戸市
(仮称)水戸市南町二丁目マンション
新築工事



[令和6年3月竣工予定]

私達は、公共施設、医療施設、介護・子育て支援などの福祉施設、商業施設、オフィス、工場、一般住宅、賃貸マンションなどの多種多様な建物の新築工事やリフォーム工事をしております。また、不動産の資産運営活用もご提案させて頂いております。地域の人々が幸せに暮らせる安心・安全で豊かな街づくりを応援しています。



水戸黄門漫遊マラソン

私達は地域活性化のために
多種スポーツ競技に
スポンサー企業として
協賛・社会貢献しております



Jリーグ
J2水戸ホーリーホック



いきいき未来へ コスモ総合建設株式会社

代表取締役 池田 勇夫 (種子島 西之表市出身)



本社/〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2丁目13-2 TEL.029-248-5358(代) FAX.029-248-5377 <http://www.cosmo-ac.co.jp>
つくば営業所/〒305-0033 茨城県つくば市東新井2-1 KMS・S2-403号室 TEL.029-852-5000 FAX.029-852-5077

コスモ総合建設

検索

❁ contents ❁

理事長ご挨拶	4
応援メッセージ	5
役員ひと言コメント	10
第10回（令和5年度）総会・懇親会	12
令和5年度活動状況（主なもの）	15
・鉄道博物館見学会	20
・高校サッカー応援観戦	28
・安納芋 焼き芋チャリティー販売会	29
・さいたま市社会福祉協議会への寄付	32
令和6年度事業計画書	34
定 款	35

NPO 法人さいたま市鹿児島県人会 役員一覧

顧問	さいたま市長	清水 勇人	理事	森 勝幸
〃	女子美術大学顧問	鳴川 洋一	〃	下園 典子
〃	日本大学名誉教授	河野 英一	〃	綿引 愛子
相談役		清水 源也	〃	新島 次男
参 与		岩川 尚美	〃	千野 恵子
理事長		竹之内康一	〃	戸谷 勤
副理事長		西 良純	〃	齊田ゆう子
副理事長 幹 事 長		岩元 定幸	監 事	岩崎 和泉
副幹事長		赤井田直幸	〃	脇 孝喜
			事務局長	赤井田裕樹

NPO 法人 さいたま市鹿児島県人会 会報 第10号

2024（令和6）年3月31日発行

発行人 竹之内 康一

【事務局（株式会社竹之内工務店内）】 事務局長 赤井田 裕樹

〒339-0035 埼玉県さいたま市岩槻区笹久保新田 1160-3 TEL 048-791-7371 FAX 048-791-7372 E-mail akaida@takenouti.co.jp

表紙写真：S・I / N・S

理 事 長 ご 挨拶



理事長 竹之内 康一

皆様いかがお過ごしでしょうか。多くの方の御協力・御支援のおかげで、私たちがこの1年いろいろな行事を行うことができましたことに厚く御礼申し上げます。

この1年を振り返ってみました。

昨年1月安納芋焼き芋チャリティー販売会・売り上げ274,750円、3月3日 顧問の今井 宏様 御逝去、3月26日 セルリアンタワーで関東鹿児島県人会連合会大会、5月28日 渋谷おはら祭り、7月29日 東京プリンスホテルでの納涼会、9月24日 全国県人会、10月9日 NPOさいたま市鹿児島県人会総会、11月2・3日 鹿児島でのおはら祭り、4・5・6日 奄美大島ふるさと交流旅行、そして今年1月安納芋焼き芋チャリティー販売会・売り上げ445,122円、2月21日 売上金全額をさいたま市社会福祉協議会に寄付し、清水市長に感謝状を貰う。

コロナも終息に向かい活動が本来の姿に戻りつつも81歳で亡くなった顧問の今井 宏様の御逝去は残念でなりませんでした。

また、ロシアのウクライナ侵攻も3年目に入り、未だに激しい戦争が行われており、さらにイスラエルのガザ地区への侵攻などで、大切な人命が奪われています。世界が平和になるにはふるさとを大切にすることが大切ではないかと思つづく思います。

そして今年に入り元旦では能登半島の地震で多くの人々が亡くなり、未だに復興できていない中、自分に出来る事は限りがあります。西郷先生だったらどうしろと言うだろうか考えています。

敬天愛人 もう一度深く学び直して、残された人生、ふるさとの為に、社会の為に生きたいと思ひます。

敬天愛人・敬人愛郷 今年もご支援・御協力をよろしく申し上げます。

最後に、会員の皆様の御健勝・御多幸と世界の平和をお祈りしてご挨拶と致します。

次回総会のご案内

*令和6年10月14日(祝・月)に浦和ワシントンホテルで第11回総会・懇親会を開催予定です。

また会員も募集していますのでご入会をお願いします。

鹿児島とさいたま市の絆を育てて参ります。

応 援 メ ッ セ ー ジ



激励のことば

鹿児島県知事 塩田 康一

NPO 法人さいたま市鹿児島県人会の皆様には、日頃から郷土鹿児島の発展のため多大なお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

また、安納芋焼き芋チャリティ販売会などを通して、鹿児島の魅力発信や地域社会への貢献に精力的に取り組まれていることに、深く敬意を表します。

昨年は7月から8月にかけて「2023 かごしま総文」、10月には「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催され、皆様の心に残るすばらしい大会となりました。全国から来県された皆様にも鹿児島の魅力を満喫していただけたのではないかと考えております。

今年、更なる産業の振興へとつなげていくために、世界自然遺産の屋久島、奄美大島・徳之島をはじめとする多様で豊かな自然や、和牛日本一に輝いた鹿児島黒牛をはじめとする多彩で豊富な食材、特色ある伝統・文化など、「南の宝箱 鹿児島」の魅力を発信してまいります。

皆様には、郷土発展のため、さいたま市、延いては関東と鹿児島県を結ぶ架け橋として、一層の御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

終わりに、NPO 法人さいたま市鹿児島県人会の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を心からお祈り申し上げます。



彩りあふれる鹿児島市を目指して

鹿児島市長 下鶴 隆央

NPO 法人さいたま市鹿児島県人会の皆様におかれましては、郷土鹿児島への熱い思いを胸に各界で活躍されますとともに、会員相互の親睦を深める懇親会や焼き芋チャリティ販売収益の寄附など、様々な事業を通して、鹿児島とさいたま市の交流発展に大きく貢献いただいておりますことに、深く敬意を表します。

また、鹿児島市政に対しましても、日頃より温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、鹿児島市におきましては、観光が経済成長のエンジンとして、さらに力強く機能を果たしていけるよう、外国人観光客向けの新たな魅力の創造や安心快適な受入環境整備等によりインバウンド対応を強化するとともに、鹿児島中央駅や天文館、本港区などの交流拠点をつなぎ、にぎわいを広げることで、新たなまちの活力を創出できるよう、歩いて楽しめるまちづくりをさらに進めていくこととしております。

市民や事業者など多様な主体の交流、相互のつながりを大切にし、それを深めていくことで、新たな価値や魅力を生み出し、温もりと活力に満ちた彩りあふれる鹿児島市を築き上げてまいりますので、皆様方には、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、NPO 法人さいたま市鹿児島県人会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝・ご活躍を心よりお祈りいたします。



ごあいさつ

さいたま市長 清水 勇人

NPO 法人さいたま市鹿児島県人会の会報第 10 号の発行を心からお慶び申し上げます。竹之内康一理事長をはじめ、日頃から本市の成長・発展にお力添えをいただいている鹿児島県人会の皆様へ、心から感謝を申し上げます。

昨年、本市は政令指定都市に移行して 20 周年を迎えました。人口は 134 万人を突破し、14 歳までの子どもの転入超過数は 9 年連続で全国第一位となるなど、有数の大都市として成長・発展を続けております。

本市が住むことを誇りに思える都市として、また、政令指定都市として今日の発展に至りましたのも、皆様の市政へのご理解ご協力の賜物に他なりません。共に歩み、汗をかき、地域社会の発展に日々ご尽力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

これからもさらに住みやすく、にぎわいあふれるまちとなるよう、皆様と一緒に汗をかきながらまちづくりを進めてまいります。貴県人会の皆様には、ふるさと鹿児島県の絆と熱い心で、本市のさらなる発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴県人会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



祝 辞

公益社団法人三州倶楽部 会長 横田 捷宏

NPO 法人さいたま市鹿児島県人会の会報誌第 10 号の発行おめでとうございます。本年は県人会創設から 10 年目、竹之内理事長を中心に多数の会員の皆様のご努力が実り、関東有数の郷土会に発展されましたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年 10 月、第 10 回の総会・懇談会に参加させて頂きましたが、バイオリンの演奏での開会から締めのおはら節の踊りまで大変楽しく有意義な半日でした。さいたま市の清水勇人市長（社会福祉法人会会長）からは毎年多額の寄付を頂いていることにお礼の挨拶がありました。埼玉競馬場の新春競馬の折りに、種子島産安納芋をみんなで焼いて、その売り上げ全額を寄贈してきたとのこと。当 NPO はふるさととさいたま市をつなぐユニークな存在になっていますね。

さいたま市鹿児島県人会の活動は、野球、バスケット大会などでの鹿児島県チーム応援、他の郷土会と共同でのふるさと訪問、地元の子供の育成支援などさらに幅広いものがあります。会員が力を合わせ新しい道を開拓し続けておられる姿に、今後のさらなる発展を期待しております。



ご挨拶

鹿児島県議会議長 松里 保廣

竹之内理事長をはじめ、NPO 法人さいたま市鹿児島県人会の皆様におかれましては、日頃から郷土の振興・発展をはじめ、鹿児島とさいたま市の交流発展のため、多大な御貢献をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

また、私の地元種子島で栽培されている「安納芋」を活用したチャリティ販売会や、SNS 等での情報発信・PR 活動、各種交流会の開催など、様々な事業を積極的に展開されておりますことに、深く敬意を表します。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に見直され、様々な活動が活発になっていくなか、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」や「2023 かごしま総文」といった全国規模のイベントが開催されるなど、本県にとりまして、コロナ禍からの再生を図るうえでも、飛躍の一年となりました。

御来県いただいた多くの方々に、鹿児島の多彩な魅力を満喫していただけたものと考えております。

私ども県議会といたしましても、引き続き、ふるさと鹿児島の更なる発展に、全力で取り組んでまいりますので、皆様のより一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、NPO 法人さいたま市鹿児島県人会の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げます。



チェスト！きばいもんぞ！鹿児島

鹿児島県市長会 会長 本坊 輝雄
南さつま市 市長

NPO 法人さいたま市鹿児島県人会 10 周年誠にありがとうございます。

貴会の皆さまには、設立以来、郷土への熱い想いを胸に幅広い活動を展開され、ふるさと納税をはじめ、故郷の発展に温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、深く敬意を表し感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症との闘いからようやく新たな日常への一歩となり、51 年ぶりのかごしま国体や高校生の全国総合文化祭をはじめ、奄美群島日本復帰 70 周年など、たくさんの交流とにぎわいに、笑顔があふれた年となりました。

今年もオールかごしまで、海や島々、火山に高原と、多彩な自然が魅力の「鹿児島のよかとこ」を、積極的に発信してまいります。

私ども県市長会は、町村会と共に、住民に最も身近な存在である自治体として、その役割と責任を果たしていくことが極めて重要であります。故郷鹿児島を次世代へ繋ぐため、全力で邁進してまいりますので、力強い応援団としてより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、NPO 法人さいたま市鹿児島県人会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



ご挨拶

関東鹿児島県人会連合会 会長 原口 悟郎

NPO法人さいたま市鹿児島県人会の皆様には、竹之内理事長をはじめ、関係の皆様方に、日頃より温かいご支援と深いご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

毎年恒例の『安納芋 焼き芋チャリティー販売会』を、今年も4日間にわたり開催され、10年以上にわたり、さいたま市への多額の寄付活動を続けておられることに、心より敬意を表します。地域社会へ大きく貢献され、コミュニティの発展にも繋がり、さいたま市のみならず、様々なふるさと会のお手本となって日々積極的に活動されていることで、鹿児島の魅力も広く発信されております。このような取り組みは地元への誇りや愛着も深まり、その功績は計り知れません。竹之内理事長の人柄からくる求心力とふるさと愛、そして有言実行が示す指導力の賜物に敬服いたしております。これからも一会員として楽しく参加し、微力ではありますが模範とすべき会として盛り立てていければ幸いです。関東鹿児島県人会連合会にとりましてもNPO法人さいたま市鹿児島県人会は、主導的な役割を担って大いに盛り上げていただいております。頼りになる存在として、活動の推進に欠かせない大きな支えとなっております。

関東鹿児島県人会連合会も、3月24日には、地元より、塩田 康一 知事をはじめ、国会議員の先生方、並びに市長会 会長、各首長様、各業界・団体の代表の皆様にご臨席を賜り、多くの皆様ご参加のもと、第39回、創立50周年記念大会の節目を迎えます。これもひとえに、これまでの歴史をつくり、支えてくださいました皆様のお力によるものと心より感謝申し上げます。これからも絆を深め、地元との繋がりを大切に活動し、今後とも継続できますよう、引き続きご指導・ご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

鹿児島だけでなく、ふるさと会全体にも大きなインスピレーションを与え続けるNPO法人さいたま市鹿児島県人会のあらゆる活動に、心より感謝申し上げますとともに、今後益々のご活躍とご発展、そして皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



関東鹿児島県人会連合会は
50周年を迎えました
皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます



会報誌発行おめでとうございます

茨城県鹿児島県人会 会長 小永吉 弘

春爛漫の新緑眩しい季節、皆様益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度のNPO法人さいたま市鹿児島県人会「会報誌第10号」の発行、まことにおめでとうございます。

かねてより貴会の活動運営には、敬意と称賛を持って拝見させて頂き、鹿児島県出身として誇りに思うと同時に感動しております。それは、竹之内康一理事長を中心に皆様一人一人が、率先垂範の活動と「利他の精神」そのものであり、私たち単位県人会の模範でもあります。

何事においても継続が大事であり、地域社会との融合・文化振興支援・社会奉仕活動等その活動は、枚挙にいとまがありませんし、周知されているところでもあります。

スポーツをはじめ何の世界でもそうですが、大きく飛躍躍進するには、厳しい試練を乗り越えて、経験していく事こそ大事だと思っております。

心の修養と後進の育成を大切にされながら、鹿児島の良き伝統を育てておられる貴会を、私達茨城県鹿児島県人会会員一同も、励みとしながら地域のために役立つ存在になるべく、社会貢献して参る所存でございます。

結びに、NPO法人さいたま市鹿児島県人会の皆様の益々のご活躍とご健勝を御祈念申し上げます。



県人会の更なる発展に向けて

埼玉県鹿児島県人会 会長 福留 準一

NPO法人さいたま市鹿児島県人会様の「会報誌第10号」の発行おめでとうございます。

10年もの長きにわたり、社会奉仕活動を中心に続けて来られた事は敬天愛人の教えを实践されておられる竹之内理事長をはじめとし、役員、会員の皆様のたゆまぬ努力の賜物と心より敬意を表す次第です。

「継続は力なり」という言葉が有りますが、今ではすっかり定着した浦和競馬場での安納芋チャリティー事業もまさにこの言葉に当てはまる様な気がします。この10年を機に更なる飛躍、発展を遂げられることと思います。

今後共、埼玉県鹿児島県人会にも御協力ご支援を頂き、より良い埼玉県鹿児島県人会を作っていたらと思います。改めまして、NPO法人さいたま市鹿児島県人会の10周年及び会報誌10号の発行、まことにおめでとうございます。結びに貴会の益々の発展と皆様のご健勝、ご活躍を御祈念申し上げます。

役員ひと言コメント

副理事長

西 良純

昨年10月NPO法人さいたま市鹿児島県人会の設立10年目の総会は、新型コロナ感染の制約なしで、無事に開催できました。皆様方の御協力に重ねて御礼申し上げます。

尚、鹿児島では国民体育大会が県内各地で開催され、桜島の景観と歴史を全国に発信した一年でもあり、私たちの故郷の歴史と文化並びに自然が全国各地に紹介された事を嬉しく思う一年でもありました。

今年からは、あらたな10年を目標に気持ちを新に地域の方々との交流に積極的に取組を行いながら交流人口拡大に努め、鹿児島の情報発信を行いさいたま市と鹿児島の発展に努めて参りますので一層の御支援・御協力を賜りますようお願い致します。

副理事長（幹事長）

岩元 定幸

昨年鹿児島で特別国体が行われ男子は天皇杯2位、女子も皇后杯2位とそれぞれが好成績を収めました。其の好影響もあってかいろいろなスポーツでふるさと鹿児島勢の活躍が目立っています。全日本大学野球選手権では鹿屋体育大学がベストエイト進出、高校女子駅伝では神村学園が優勝、そして大相撲では種子島出身の島津海関が新入幕を果たすなど人の気持ちがあまく連鎖すればそれぞれが頑張ろうという事で好循環が生まれるのでしょうか。今年は辰年ですが昇龍の勢いに乗って社会、経済が好転することを期待したいですね。

当会の10回目となる浦和競馬場での安納芋焼き芋チャリティ販売会（1月）では過去最高の売り上げとなりました。このイベントは私利私欲なくお世話になった社会への貢献という活動ですから価値があります。自分の立場を考えて行動はしますが、「損得ではなく善悪で判断する心」でこの一年を頑張りたいと思っています。第10号の会報誌が、読んでいただける皆様の心に届けば嬉しいことです。

理事（副幹事長）

赤井田 直幸

個人的には、今期はスポーツ応援を通じた活動に力を入れました。サッカー、バスケ、バレーと3つもプロチームを持っている県なのでそれぞれ生かして地域の活性化につながるよう。関東地方で応援を続けていきたいと思っています。

理事

森 勝幸

一歩歩けば一つ物忘れをし、忘れ物がないか、再確

認をして、さらに心配する、メモも取らずに生活していたのがウソみたいを感じるこの頃、いつまで、現役でいられるのか、それも心配、古里種子島も、変化が激しいようで、5年6年先が心配。心配事の多いことが、活力の源となると信じ今年一年頑張ります。

理事

下園 典子

正月のだんらんを奪った地震に続き、羽田の飛行機事故、新年早々心を痛めるニュースに、おせちも喉を通らない気持ちの中、日航機の乗客全員の命が救われたとのこと、乗務員の冷静な対応に感謝の気持ちでいっぱいになりながらテレビに釘付けの正月でした。

こんな咄嗟の時、自分は何かができるだろうと真剣に考えるチャンスをいただいた。まず自分が心身共に健康でないと何もできない。

そして普段から自分の行動を心を持って働く習慣を付けることが大切ではないかとの思いに辿り着いた。三日坊主で根気のない自分ではありますが、まずはお受けした役割に心を込めて、笑顔でお手伝いさせていただきます。

本年も竹之内理事長のもと、心を一つにして活動できますよう。

理事

綿引 愛子

さいたま市浦和区で暮らし始めて38年になりました。東京・埼玉で出会った友人、知人は、『ふるさとがあっていいですね』『鹿児島県の方々は郷土愛が強いですね』とか『関東圏でしか育っていないので、うらやましい』ともおっしゃいます。

〈NPOさいたま市鹿児島県人会〉の一員となってわかってきたのですが、理事長を初めとして鹿児島県出身者の皆さんから、郷土への深い思いを感じてまいりました。同じく、今、住み慣れている地域への感謝もあります。

それが原動力となって、喜んで活動が続けられてきているゆえんでしょう。

会員の入会については、特に条件を定めないということですから賛同者であれば出身地、住居地もそれぞれですから、活動の広さ、深さを共有できる良さがあります。

戦争のない世界、平和な日本であることを願い祈りつつ、地域社会との連携ならびに文化を振興することに、少しでもお役に立てたらと思っています。

理事

新島 次男

郷土愛の強い鹿児島県人の皆様とさいたま市民との交流を通じて、“いのちは大地に根ざして共生して生き

る”という基本の元、人との交流の大切さを痛感しております。特に、NPO活動による安納芋の、焼き芋チャリティ販売の売上金をさいたま市社会福祉協議会へ寄付して頂くなど、地域への貢献と成長につながる“絆づくり”に多大なる活動の成果を頂いております。これからも、NPO活動を通じて「かごしま」と「さいたま」との心の密作りを推し進め、お役に立てるよう努力して行きたいと考えておりますので、ご支援をよろしくお願い致します。

理事

千野 恵子

兵庫県神戸市へ赴任してそろそろ4年。神戸市には製鉄や造船の職を求め、多くの奄美群島出身者が移り住まれたそうで、群島出身の兵庫在住者の皆さんでつくる「神戸奄美会」があります。「神戸奄美会」によれば、兵庫県には2世、3世を含めた群島出身者がおよそ6万人もおられるようです。

昨年、「神戸奄美会」の皆さんを神戸まつりのパレードで拝見しました。「奄美群島日本復帰70周年」の横断幕の前に、100名を超える皆さんが大島紬に身を包み、真っ赤なハイビスカスを手に、「奄美サンサン音頭」に合わせて、楽しそうに踊り歩いておられました。

戸みんなのこころ合わせてユイユイ、きばらでえ奄美、きばらでえ奄美、サンサンサン戸耳に残る懐かしいリズムに奄美の指笛（はと）もパレードを盛り上げていました。

長い休みをとって奄美群島をのんびり巡りたいです。

理事

戸谷 勤

当NPO法人のホームページ制作を担当させていただいて9年。いま思えばアツという間の年月でした。

皆様のおかげにより、アクセス数も維持しており、リピーターも一定数が定着した感があります。地道な積み重ねの大切さ、まさに「継続は力なり」ではないでしょうか。

これからも「かごしま」と「さいたま」の情報発信に頑張ります！

理事

齊田 ゆう子

NPO活動に参加させていただくようになって2年になります。

理事長はじめ、各理事の方々の後ろから付いていっている状態ですが、皆さんにはとても優しくご指導頂いています。

2023～2024の年末年始は「神村学園」のサッカー応援に始まり、浦和競馬場での「安納芋チャリティー販売」、バスケットの「鹿児島レブナイズ」、バレーボールの「フラワーラット鹿児島」の応援で忙しくなりました。個人的には、これに加えてラグビーの「埼玉ワイルドナイツ」の観戦にも時々行っております。

今年は、各県人会の中に踊りの名手が多数いらっしゃいますので、ご教授頂きながら普段の運動不足を解消出来れば！と思っている所です。

これからも宜しくお願い致します。

監事

岩崎 和泉

両親の他界後、鹿児島への帰省が疎かになった昨今、同年配で兄弟同様に育った従兄弟の次々の訃報通知と一緒に育った加世田で山や稲刈り後の田圃を走り回った少年時代が懐かしく寂しさを感じています。

コロナ禍で不要不急の外出規制で出不精になっていましたが、今年は帰省して二つ違いの兄と加世田、笠沙方面を巡り思い出話で語り明かしたいと思っています。

郷土との絆と公益活動の充実に切磋琢磨しています。当会の益々の発展を願いますとともに皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

監事

脇 孝喜

昨秋、家族と墓参りに帰鹿。その折、多くの人から有意義な話を伺い鹿児島島の良さを再発見しました。鹿児島市内のタクシーでは、①平成5年の8.6水害で甲突川が溢れたが、町人の多い西岸の堤防は土族の多い東岸よりも低くしてあったので西岸の方に溢れ出た（本当？）、②市内のラーメン有名店は細くて素麺のようで地元ではあまり人気がない、鹿児島中央駅近くの「G家」のラーメンはコクがあって評判だ（個人的見解？）、③「天文館むじゃき」の白熊は、量が多くお腹が冷えるので加減して食べた方がよい（そのとおりに！）など博学を披露していただいた。また、指宿の観光タクシーの女性ドライバーからは、ベテランの呼び込みのいる土産物店の上手な通り過ぎし方を丁寧に教授していただいた。更に、市電の中では、旅行中の家族だと悟ったらしい中高年の地元女性が、私の息子の嫁（埼玉生まれ）に近寄ってきて、「よくぞ、鹿児島に来てくれました。色んなしきたりがあった大変でしょう。」と声をかけられ恐縮。

人情溢れる鹿児島、やっぱい、かごいまはよかなあ！

今年も1月の浦和競馬場内での安納芋のチャリティー販売会に参加させていただきました。売上も伸び、毎年恒例となっているので会場に来られた方々にもかなり認知されてきたものと思われまます。これからも微力ながら会活動に尽くします。

事務局長

赤井田 裕樹

大晦日に高校サッカー観戦行きました。2年連続、会場は神奈川県でちょっと遠かったですが鹿児島を応援するためなら行きます。前半の早いうちに2点取り応援団も大興奮。後半になっても攻めの姿勢を変えず1点を取りに行こうとしているプレーに胸を打たれました。来年も応援に行きます！他の鹿児島の高校も応援しています。

第10回総会・懇親会

令和5年10月9日(月・祝)
浦和ワシントンホテル

10月9日(月・祝)、節目となる第10回の総会を、浦和ワシントンホテルで開催しました。

昨年まではコロナ対策も加味して会員のみでの開催でしたが、この5月に第5類相当という取り扱いとなったことで、4年振りに会員以外の皆様にも案内を差し上げた結果、雨天にもかかわらず総勢74名の参加と昨年を大きく上回る結果となりました。



バイオリンでオープニング 竹添みどりさん

予定時刻の10:45には、恒例となった竹添みどりさんのバイオリン演奏がオープニングを飾りました。演奏終了後には全員で記念写真の撮影も行いました。そして、赤井田直幸副幹事長の司会で総会が開始されました。

竹之内康一理事長があいさつに立ち、「節目の10回目を迎えることができたことを喜びたい」また、鹿児島では国体が開催されていることに触れ「52年前の国

相当という取り扱いとなったことで、4年振りに会員以外の皆様にも案内を差し上げた結果、雨天にもかかわらず総勢74名の参加と昨年を大きく上回る結果となりました。

理事や準備を手伝う皆さんが9:00過ぎには集合し、ミーティングのあと手慣れた様子で準備を進めました。綿引愛子理事がテーブルに飾る花を、前日から手作り準備してくれました。今年はふるさと物産販売も再開し、ロビーには店がオープン。さらには多くの抽選用景品の展示も完了し、いよいよ開催の時刻になりました。





竹之内康一理事長



原口悟郎 関東鹿児島県人会連合会会長



大園博史 関東鹿児島県人会連合会副会長



横田捷宏 三州倶楽部会長

体開催時は、鹿児島島のタクシードライバーのマナーの悪さや、某ホテルの対応のまずさなどを感じ苦言を呈した。その後の皆さんの努力により、今や全国に誇れる鹿児島島になってとても喜んでいる」と話をされました。

来賓を代表して関東鹿児島県人会連合会の原口悟郎会長が「さいたま市鹿児島県人会は、連合会の中でも特筆すべき活動をなされており敬服します」との祝辞をいただきました。

西良純副理事長の議事進行で、前年の事業報告や新年度活動計画などの議案が承認されました。そして役員が全員再任となりメンバーの紹介がありました。神戸に単身赴任中の千野恵子理事が、この総会のため、わざわざ帰ってきて閉会のあいさつを担当してくれました。千野理事は「各県人会の皆さんが、それぞれの活動を継続されていることを聞くと私も頑張っている」と自身の思いを語り、会場からも拍手が送られました。

小休止のあとは森勝幸理事の司会で懇親会が始まりました。

大園博史 関東鹿児島県人会連合会副会長が「この会は、とても明るくて楽しい」と乾杯のあいさつをされました。そして三州倶楽部の横田捷宏会長、鹿児島県東京事務所の伊地知芳浩所長、鹿児島市東京事務所の高木悦子所長、埼玉県鹿児島県人会の福留準一会長から、それぞれ心のこもった挨拶をいただきました。

齋田ゆう子理事が寄せられたお祝いメッセージを読上げたところで、さいたま市の清水勇人市長がお祝いに駆け付けてくださいました。「さいたま市鹿児島県人会の皆さんから、毎年、安納芋販売会での売上金を社会福祉協議会にご寄付いただいています。誠にありがたくお礼を申し上げます。また、若い時に指宿市に2か月ほど滞在した時、おいしいさつま揚げをいただき、焼酎の洗礼も受けました。今の指宿市の打越明司市長は、その時からの仲間であり、鹿児島とつながっていることを実感しています」と挨拶をいただきました。欣交会の上野博史前会長の



清水勇人 さいたま市長



鹿児島県東京事務所
伊地知芳浩 所長



鹿児島市東京事務所
高木悦子 所長



埼玉県鹿児島県人会
福留準一 会長



二人のコラボ 竹添みどりさんの
バイオリン演奏

熊坂路得子さんの
アコーディオン演奏



シンガーソングライター季子さんと園田 東さんの
デュエットに種子島連の踊りを添えて

乾杯のご発声で、会場は一気にはじけて食事や焼酎を楽しみました。

そして、竹添みどりさんのバイオリンにアコーディオン奏者の熊坂路得子さんが加わり、二人の素敵な演奏会となりました。昨年も二人のコラボで盛り上がりましたが、今年はさらに息の合った演奏を披露していただきました。さらに、初登場のシンガーソングライター季子さんは自作の「父さんの作業着」を唄った後、



茨城県人会の園田東幹事長とのデュエットで「わがふるさと種子島」を披露されました。

竹之内康一理事長から「故郷の応援歌を作れたらいいな」という提案があり、季子さんと園田さんが相談して作った歌だそうです。この歌に、下園典子理事が踊りの振り付けをして合わせて披露してくれました。ふるさとへの思いが積みあがってできたこの歌は関東種子島会などでも披露されています。

竹之内康一理事長から「故郷の応援歌を作れたらいいな」という提案があり、季子



欣交会前会長
上野博史様の乾杯



宴たけなわというところで、参加者の最高の楽しみは「抽選会」です。いろいろな方々にご寄付いただいた景品は豪華そのものでした。「森伊蔵」、「魔王」、「村尾」のいわゆる"3M"も提供され、ますます盛り上がりました。

シイタケ・お米・有名焼酎・種子島の高級包丁など、数多くの景品が漏れなく当たることで、抽選のたびに会場が歓声が上がっていました。寄贈いただいた方々に感謝です！



楽しい時間は、あっという間に過ぎるものですが、最後は鹿児島県人会で定番になっている「おはら節」を踊って締めます。

鳴川洋一顧問が「私はいろいろな会からお誘いを受けるが、コロナもありまた高齢という事もあるのでほとんどお断りしている

が、この会だけは参加したいと思ってきました」と閉会のあいさつをされました。そして、中島治三郎 関東鹿児島県人会連合会名誉会長の三本締めで、10回目の総会・懇親会が終了しました。

来年以降も、また多くの方のご協力をいただきながら活動を進めていきたいと思います。



最後は恒例の「おはら節」で

2023
3/26

関東鹿児島県人会連合会「第38回大会」に参加しました



◀毎年鹿屋から送っていただくバラが舞台に。 ▲600名を超えた会場

3月26日（日）に渋谷セルリアンタワーホテル東急で、関東鹿児島県人会連合会「第38回大会」が開催され、当NPO法人からも数多くの会員が参加しました。

この大会は、毎年2月に賀詞交歓会として開催されることもありましたが、今年は桜の咲く3月末に開催。実に600人を超える方々が参加しました。当NPO法人のメンバーは、この大会開催の中心となって、準備段階から積極的に協力しました。



第一部の式典では、竹之内康一副会長（当NPO法人理事長）が開催のあいさつを行い、原口悟郎会長（当NPO法人会員）が「郷土愛は国を愛することにつながる。単位県人会や地元と協力・連携しながらふるさとを応援できるよう頑張りたい！」と挨拶されました。

今回は事前の告知を徹底したこともありますが、ふるさと鹿児島県の塩田康一鹿児島県知事をはじめ



とする市町村長16名も参加されました。

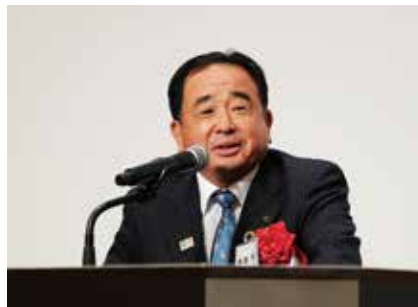
塩田知事からは、昨年秋の「第12回 全国和牛能力共進会鹿児島大会」で（鹿児島が）和牛日本一になったことや、奄美群島が日本復帰70周年を迎えたこと、屋久島の世界自然遺産登録30周年の記



念すべき節目の年であることなどを語られました。

本坊輝雄県市長会会長（南さつま市長）と高岡秀規県町村会会長（徳之島町長）は、コロナ問題を乗り越え、また物価対策などにも対応しながら、ふるさと鹿児島県の地方創生に取り組んでいることなどを、それぞれの視点で説明されました。

今回は「奄美群島日本復帰 70 周年」の記念すべき年であるということで、歌や踊りは奄美特集でした。



また、コロナの影響で2年延期となった特別国民体育大会と特別全国身障者スポーツ大会が「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」として10月に地元で開催されることの応援タイムが設けられました。

さらに、ふるさとをPRするコーナーでは、各市町村長さん方からの地元情報や寄贈品のことを1分



間でPRした後に抽選で参加者の皆さんに提供するというプログラムに、会場は大いに盛り上がりました。

今回参加されなかった市町村からも寄贈品が届き、さらには城山観光様ご提供の宿泊券、ソラシド



エア様からご提供された東京一鹿児島往復チケットなどの豪華賞品など、41本の抽選には、会場のあちらこちらで歓喜の声が上がっていました。

懇親会の最後は、恒例の「おはら節」の総踊りや奄美の「六調の歌と踊り」に、会場中を楽しそう



に踊る皆さんの生き生きした姿が印象的でした。

大会の最後には、岩元定幸幹事長（当 NPO 法人副理事長兼幹事長）が「多くの皆様に支えられ、



盛大な大会ができました。また、来年には 50 周年を迎える関東鹿
児島県人会連合会の発展に向けて、さらなるご支援を賜りたい」
とのお礼の挨拶がありました。

たくさんの寄贈品や物産販売、そして賑やかな歌や踊り、国体
の PR での「ぐりぶー」と「ゆゆぶー」のマ
スコットキャラクターの登場、さらには期待
される選手として鹿屋工業 OB のボクシング
選手（内村源斗選手、荒武一真選手）の挨拶やスパーリングのデモンストレー
ションなど、盛りだくさんの内容が繰り広げられた大会になりました。

コロナ禍も沈静化しつつあるなか、数多くの皆さんが心待ちにして参加した
という印象のある大会でした。



2023
5/27
~28

「第26回 渋谷・鹿児島おはら祭」が 開催されました！

5月27日（土）と28日（日）の両日にわたり、渋谷道玄坂・文化村通りで「渋谷・鹿児島おはら祭」が賑やかに開催されました。

鎌倉時代に渋谷一族は薩摩に移住した歴史がありますが、その縁もあって、平成10年に鹿児島市と渋谷区が協賛をして、この渋谷・鹿児島おはら祭が始まりました。

27日と28日の開催中は、道玄坂に「さつまの物産展や渋谷・鹿児島観光案内」のブースが出店され、東京カルチャーセンターで音楽を聴きながら焼酎や鹿児島の食を楽しむ「鹿児島焼酎&ミュージックフェス in 渋谷」も開催されました。

そして、28日は正午から、神南小学校の鼓笛隊が「おはら節」を演奏しながら先導し、東京消防庁ガラガースや鹿児島親善大使のパレードでお祭りが始まりました。そして54の踊り連（約2,000人）が「おはら節」や「渋谷音頭」などを踊りながらのパレードが賑やかに行われました。

新型コロナウイルスも5類の扱いとなったことと、海外からの観光客も大幅増加したこともあって、沿道には多くの人達が詰めかけ、たいへんな賑わいでした。

今年から関東鹿児島県人会連合会会長賞を提供することとなり、外国の方々に編成する「インターナショナルおはら」が受賞されて大喜びでした。また、グランプリ賞は「東京鶴丸連」、鹿児島県知事賞は「関東さつま南の会」、渋谷区長賞は「奄美愛しや連」が獲得しました。そのほか鹿児島市長賞、審査委員長賞、敢闘賞などの表彰もありました。

毎年繰り上げられるこのおはら祭は、渋谷の風物詩としてすっかり定着しています。NPO 法人の会員も出場され、数多くの関東鹿児島県人会連合会の会員も参加するこのお祭りが、ますます盛り上がることを期待しています。



2023
6/5~8

第72回・全日本大学野球選手権大会応援 初出場の鹿屋体育大学、大健闘!!

初出場の鹿屋体育大学、大健闘!

第72回・全日本大学野球選手権大会開催中

6月5日(月)から神宮球場で開催されている全日本大学野球大会には、全国各地から勝ち上がった27校が出場し、熱い戦いを繰り広げています。

鹿児島県鹿屋市にある鹿屋体育大学が南部九州大学ブロックで初優勝を成し遂げ、創部40年にして全国大会に初出場することとなりました。国立大学である同校においてはスポーツ推薦は



ありませんが、全国から高い志を持って南国鹿児島の大隅半島に集い、日々頑張っています。そして、その夢がかなったこの大会で初出場ながら大健闘しています。

6日(火)の第二試合で高知工科大学と対戦しました。初回原俊太主将の先制ツーランホームランで幸先よくリードし、2回にも追加点を取りました。しかし、高知の粘りの攻撃で4回には同点とされました。しかし、7回と8回に積極的

な攻撃を展開し5対3で初出場初勝利をあげました。

7日(水)の2回戦は、強豪の近畿大学と対戦しました。初回1点を先制されましたが、その後、エース森田希夢投手の頭脳的な投球で得点を許しません。打線は積極的なバッティングでヒットを重ね、中盤までに4点を奪います。8回には、川瀬虎太郎選手が右中間を破るランニングホームランで近畿大学を突き放し、5対1で勝利。見事にベスト8への進出を決めました。

関東鹿児島県人会連合会では、鹿児島の大隅半島にある大学が初の全国大会出場を応援しようとメールやラインなどで呼びかけました。そして、初戦の5日には関東鹿屋会や連合会事務局のメンバーで応援に駆け付け、選手やスタッフの皆様にも声をかけ激励しました。試合終了後には、前田明副学長や藤井雅文監督にも挨拶ができました。県人会の皆さんもテレビなどで観戦し、大きな声援を送っています。さらなる活躍で盛り上げていただきたいと思います。

8日(木)、鹿屋体育大学は準々決勝で白鷗大学と対戦しました。最終回まであきらめない姿勢で1点差まで詰め寄りましたが、残念ながら4対3で敗れてしまいました。

しかし、初出場でベスト8まで進出した大健闘ぶりは、鹿児島に元気をもたらしてくれました!

2023
8/11

「鉄道博物館見学会」を開催しました！

鉄道博物館
THE RAILWAY MUSEUM



お盆間近の8月11日（山の日）に、さいたま市大宮区の人気スポット鉄道博物館（通称・てっぱく）の見学会を開催しました。当NPO法人の理事やその家族そして埼玉県鹿児島県人会からも参加があり、総勢10名で久しぶりに童心に帰ったような気分で、楽しい見学会になりました。

当日は13:00に鉄道博物館駅に集合しましたが、会場には多くの家族連れや海外からの観光客も数多く訪れており、たいへん賑やかでした。



まずは、75メートルもある鉄道歴史年表が掲示される2階フロアを見学。年表の下にはその時代に使われたであろう、さまざまな車両モデルが展示され、興奮気味に眺める家族連れの姿が印象的でした。また、2階フロアから36両もの実物車両が展示される車両ステーションも見ることができます。さらに、鉄道ジオラマは軌道延長が1,200メートルもある日本最大の規模を誇ります。

コンパニオンが各時代の模型車両の説明を行い、次々と動き出す様子を満席の見学席から子供たちも目を輝かせて見つめていました。鉄道文化ギャラリーでは、たくさんの駅弁の展示や鉄道に関する映画の歴史なども展示されていました。

歴史ステーションでは時代に沿った各設備の展示もあり時代とともに進化する技術を確認できました。

そして、1階の車両ステーションを見学。若い頃に利用したであろう寝台列車や特急電車の懐かしい車両に乗り込み、しばし思い出に浸る人もいました。

また、日本の伝統工芸の技術を尽くしたといわれる御料車（お召列車）も展示され、歴史を感じました。

この博物館は、2007年10月、JR発足20周年の記念事業として大宮に開設されました。そして2018年には新たに南館も増設されたことで、見学に来る人も増加しているとのこと。

南館は最新の新幹線車両なども展示され、新しい時代に向かう新技術などの紹介もされていました。

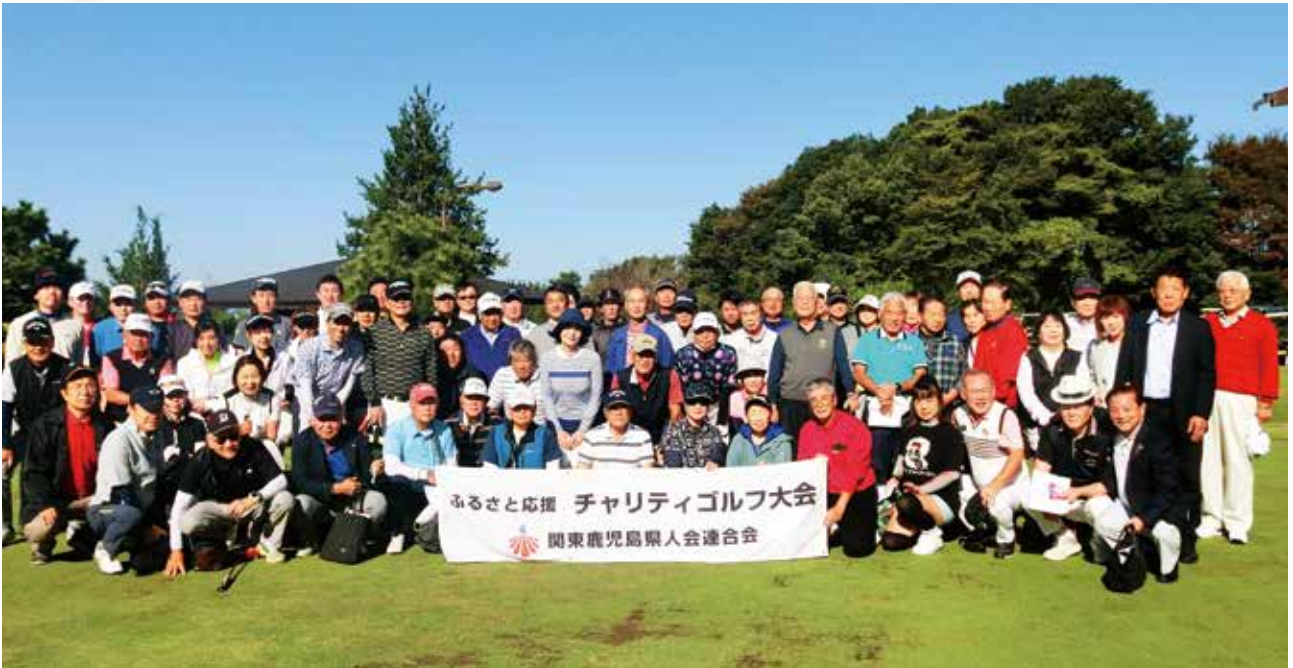
子供たちが喜ぶであろうシミュレーターホールは抽選で、その当選確率は10%以下という人気だそうです。

今回の見学会は2時間程度でしたが、まだまだ見るべきところはたくさんあります。

ぜひ、子供さんやお孫さんを連れて見学に行かれたら良い思い出作りになると思います。

2023
10/17

「ふるさと応援チャリティゴルフ大会」に参加しました！



10月17日（火）雲一つない秋空の下、関東鹿児島県人会連合会は、群馬県太田市の太田双葉カントリークラブでチャリティゴルフ大会を開催しました。



この大会は、参加される方々のご好意によるチャリティ募金を「ふるさと応援基金」に積み立てていこうという趣旨で、毎年秋に開催されています。このふるさと応援基金は、ふるさと鹿児島で発生した災害のお見舞金や、若者育成プロジェクトなどへの応援などに寄付されています。



当NPO法人の多くの会員もその趣旨に答えるべく、積極的に参加しプレーを楽しみました。当会会員の大園博史さんは、このゴルフ場のオーナーでもあります。大会を盛り上げようと、いろいろなサービスを提供していただきました。奥様もゴルフ仲間を引きつけて参加されました。

竹之内康一理事長は「皆さんの思いが伝わり、好天に恵まれました。私はプレーしませんが、裏方で頑張ります！」と開会のあいさつ。実行委員長の園田東さんがルール説明を行いました。そして、始球式の代わりにクラッカーを鳴らすというユニークな企画に、本田勝彦 三州倶楽部前会長と原口悟郎 関東鹿児島県人会連合会会長が協力してくださいました。

18組・66名のプレーヤーが2つのコースに分かれて、一応、優勝を目指しながらも、面白おかしく楽しく交流を図られました。

表彰式には数多くの寄贈された賞品が並び、そして全員にもれなく渡り、皆さん満足の様子でした。個人優勝には関東鹿屋会の安水實好さんが輝き、本人もびっくり！という挨拶をされました。



鹿児島・いちき串木野市より参加いただいた田畑誠一前市長

団体優勝にも関東鹿屋会が輝き、前田義美会長はまさに破顔一笑で自慢げな様子でした。また、前いちき串木野市長の田畑誠一さんも仲間とともに鹿児島から参加していただきました。「皆さんの楽しそうな姿を見ると嬉しい。さらに、ふるさとを応援していただいている気持ちも十分に伝わりました」と挨拶をされました。

岩元定幸副理事長の率いる NPO さいたま市鹿児島県人会チームは、健闘むなしく団体7位でした。

来年もこの大会は開催される予定ですが、ふるさとを応援するという思いで、当会の会員の皆さんもぜひ参加していただき、団体優勝を目指してもらいたいと思います。



2023
11月

「鹿児島おはら祭」と「ふるさと交流の旅 in 奄美大島」に参加しました！



11月2日（木）と11月3日（金）は、鹿児島の天文館を会場とした南九州最大の祭り「鹿児島おはら祭」が開催され、総勢 15,000 人の踊り手で盛り上がりました。関東からも「渋谷おはら祭」に参加したメンバー 200 人も鹿児島に帰り、踊りに参加しました。当 NPO 法人のメンバーも数多く参加して、ふるさとの祭りを楽しみました。



竹之内康一 理事長は、原口悟郎 関東鹿児島県人会連合会会長とともに招待を受け、貴賓席でこの踊りを見学しました。

左：錦江町 大根占・田代踊りたい

右：関東さつま南の会 恩師との出会い

翌11月4日(土)から11月6日(月)までは、関東鹿児島県人会連合会が主催した「ふるさと交流の旅 in 奄美大島」が開催され、こちらには当NPO法人のメンバーを含む42名の皆さんが参加しました。11月4日の朝早くから羽田空港を出発したメンバーと鹿児島空港で合流し、11:00には奄美空港に到着しましたが、日差しは夏でした。

先乗りした綿引愛子理事ほか数名の皆さんが、奄美空港で出迎えてくれました。

早速、2台のバスに分乗して奄美パークに向かい、まずは昼食をとりました。一息ついたのち、世界自然遺産に登録区域に広がる常緑広葉樹を中心に、巨大なヒカゲヒゴなどの亜熱帯植物が茂る金作原の森林のエコツアーを楽しみました。ここはエコツアーガイドの同行がないと入れない場所とのことで、喜島浩介さんたち3人のガイドさんが案内してくださり、神秘的な自然の森を堪能できました。

その夜は前夜祭ということで、地元の皆さんとライブハウス「ASIVIあしび(遊びの意味)」で、食事やカラオケなどで楽しい時間を過ごしました。



11月5日(日)は、早朝から南へ下って宇検村の赤土山展望台に行き、奄美の深い山々の絶景を見せていただき、そして住用町のマングローブパークへ移動。ここでは、ほとんどが初めてというカヌーを体験しました。それぞれ二人乗りのカヌーを漕いで亜熱帯独特のマングローブ原生林を見学できました。



水上から見る原生林、そして澄み切った水と広がる青空で、最高のカヌー散策でした。

次に、瀬戸内町を訪問。海の駅では、昨今、有名になった「近代マグロ」や豚肉の煮物など、島独特の昼食をとりました。そして待望の加計呂麻島へチャーターした2隻の水上バスで20分の船旅を楽しみましたが、海の色が濃いブルーで感動する美しさでした。

加計呂麻島では、明治時代末期から太平洋戦争時にかけて軍事施設が配備されたという安脚場（あんきゃば）戦跡公園を見学しました。その後、「男はつらいよ」で有名になった最終作品「寅次郎紅の花」の撮影場所となった諸鈍を訪問し、記念碑や美しい海岸を楽しみました。加計呂麻島では、短い滞在でしたが、その美しい景色や空気を満喫し、また訪問したいと思いました。

夜は、名瀬の奄美ホテルで地元の皆さんとの交流会・懇親会が開催され、奄美市・龍郷町・瀬戸内町・大和村・宇検村のリーダーの皆さん53名が参加されました。また、塩田康一 鹿児島県知事もわざわざ駆けつけてくださり、「関東鹿児島県人会連合会の、ふるさとを思って活動されていることは、私たちの励みにもなっている」と挨拶されました。



奄美の懇親会では、最初に必ず披露されるという祝舞「御前風」を、琉球舞踊の指導もされている山元孝子さんが演じてくださいました。

竹之内康一理事長の開演のあいさつで懇親会が始まり、地元の唄者の皆さんが島唄や祝節、琉球舞などを披露され、会場はとても賑やかでした。

おはら節や六調で会場いっぱい踊りの輪が広がり、楽しい懇親会となりました。

最後に全員で記念写真を撮影し、岩元定幸幹事長がお礼と中締めをのあいさつを行って懇親会が終了、





奄美の皆さんの情熱を感じる交流会となりました。

最終日の11月6日は、「龍郷町りゅうがく館」で島の歴史などの説明を受けた後、西郷南洲流謫跡を見学しましたが、愛加那の親族である龍昭一郎さんが、自ら説明してくださいました。

そして奄美大島紬村では、泥染めの実演や細かな模様付けなどを見せていただきましたが、すべてが手作業ということで、その価値の高さを感じました。

さらに奄美パークの中には「田中一村記念美術館」があり、その独特の絵画を見ることができました。

最後に、島の北東部に位置する「あやまる岬観光公園」を訪問し、雄大な太平洋を望む素晴らしい景色を堪能しました。



3日間の奄美大島訪問は、地元との交流もでき、たいへん有意義な旅



となりました。都会の喧騒を離れリフレッシュした人も多かったようです。

機会を作って、また行ってみたいと感じる「ふるさと交流の旅」となりました。



2023
12/3

西郷隆盛生誕196年祭に参加しました

青空の広がる12月3日（日）、上野公園で今年も西郷隆盛生誕祭（196歳）が開催され、西郷さんを敬愛する150人ほどの人たちが集まりました。

早朝から「敬天愛人フォーラム21」の内弘志 代表世話人や当NPO法人の竹之内康一理事長などが先頭になり、西郷さんの銅像周辺をきれいに清掃して会場づくりを行いました。

そして今年で22回目の開催となるこの生誕祭が、山形から参加された出羽三山の山伏洞貝演奏で厳



かに始まりました。司会は竹之内理事長が担当しました。

まず「敬天愛人の教え」を唱和し、内代表が祭文を奏上しました。数人の代表者が西郷さんの魅力を発表した後、「南洲翁遺訓」を全員で朗読。そして玉串奉奠と進んでいきました。

ご来賓からは、上野公園のある台東区の服部征夫 区長、関東鹿児島県人会連合会の原口悟郎会長、三州倶楽部の本田勝彦前会長が祝辞を述べられました。



また、公務が多忙のなか、途中から駆けつけていただいた塩田康一 鹿児島県知事が「鹿児島では、奄美大島本土復帰70周年となるこの年に国体も開催され、天皇杯・皇后杯とも第2位という好成績を上げることができました。また、農林水産業の皆様も頑張っておられます。数多くの皆さんが、西郷さんの教えを学びながら活躍されています。私も西郷さんの精神を学び、見習いながら県政を進めていきたいと思います」と挨拶されました。



そして、詩吟やお祝いの唄、郷土の踊りなどが奉納されました。締めには鹿児島おはら節が流れ、



飛び入りの皆さんも含めて賑やかに生誕祭を盛り上げました。

当NPO法人の多くの会員も参加し、準備から後片付けまでを手伝いましたが、このことを通して西郷さん持つ魅力を再確認することもできました。なかなか難しいことではありますが、「無私無欲、淡白高潔」の心で過ごしたいものです。

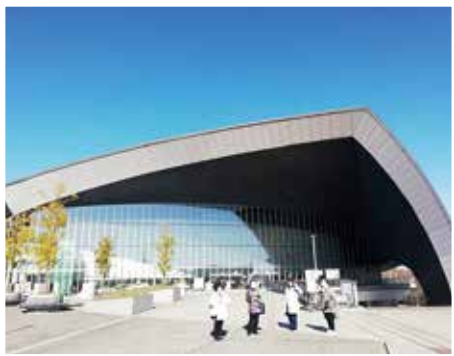
2023
12/8

フラゴラッド鹿児島、 全日本バレーボール選手権大会に応援

12月8日（金）～10日（日）まで「天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会」が、武蔵野の森総合スポーツプラザ（調布市）で開催されました。男子・女子ともに全国各地のブロックラウンドを勝ち抜いた24チームが、ファイナルラウンドに進出してきました。

男子では、今シーズンから Division3（V3）に参戦した「フラゴラッド鹿児島」が、九州Bブロックを勝ち上がり、この大会に初出場することとなりました。

12月8日（金）12:00からの1回戦の対戦相手は、日本体育大学ということで、関東鹿児島県人会連合会の皆さんと一緒に応援に行きました。京王線「飛田給」駅から5分ほどの会場の隣には、サッカーでも有名なFC東京がホームグラウンドにしている味の素スタジアムや、いくつかのスポーツ施設が整っており、まさに“スポーツの町”でした。



会場は4つのバレーボールコートがあり、男女が2コートずつを使って熱戦を繰り広げていました。

Bコートで開催された



「フラゴラッド鹿児島 対 日本体育大学戦」は、力が拮抗した素晴らしい試合でした。

第1セットは、前半リードを許しな



がらも粘った結果、25対23で勝利しました。

第2セットでも接戦が繰り広げられ、最後は相手のスパイクを藤原選手が



見事なブロックで抑え、27対25で逃げ切りました。そして、やや疲れが見えた日本体育大学の乱れを逃さずリードのまま、最後は長友優磨選手の強



烈なスパイクで25対22と、1セットも落とさず初出場初勝利をあげました。

会場には各チームの応援団が詰めかけて、たいへんな熱気でした。法被を着こんで応援する私たちの周囲にも、鹿児島から駆けつけてきた応援団もあり、一緒になって声援を送りました。

今年、鹿児島では国体も開催されたこともあって、サッカーや野球に加えてバレーボールも大きな大会で上位進出する活躍に、私たちも元気をもらうことができました。

12月9日（土）の2回戦は、V1で活躍しているJTサンダーズ広島に挑みましたが、さすがに自力の差を見せつけられ、3対0で退けられてしまいました。

しかし、まだスタートしたばかりのフラゴラッド鹿児島の、さらなる躍進を期待しています。

2023
12/31

「全国高校サッカー選手権大会」応援観戦！ 松本国際高校（長野代表）に勝利！！

第102回全国高校サッカー選手権大会が、12月28日から開催され、12月31日は、当NPO法人恒例の鹿児島県代表の応援会を開催しました。

当NPO法人のメンバーに関東鹿児島県人会連合会の仲間も加わって、総勢14名が会場となった横浜のニッパツ三ツ沢球技場に集合。そしてメインスタンド側（学校関係者等の隣の席）で法被を着て陣取りました。

5月に新型コロナウイルスが「2



類相当」から「5類感染症」へと位置づけが変わったことから、今大会から応援団席も制約が解かれ、完全開放となりました。そのこともあってかメインスタンドは、ほぼ満席状態でした。

そのなかで鹿児島代表の神村学園と長野代表の松本国際が登場すると、会場は大きな声援と拍手で包まれました。

試合は、昨年ベスト4まで進出し優勝した岡山学芸館にPK戦の結果惜しくも敗れましたがさらに磨きかけた神村学園が、安定したサッカーを展開します。前半8分自陣からパスをつないで相手陣営に切り込んだ主将の西丸道人（ミント）選手が、右サイドからセンタリング。それを名和田我空（ガクウ）選手が右足でシュートし、見事な先制点をあげました。

さらに24分には、これも右サイドから持ち込まれたセンタリングに、DFの有馬康汰選手が反応し2点目をゲットしました。

そしてそのまま守り切り、前半を終了しました。シュートや得点の度に神村応援団が大いに沸きま

す。私たちもその攻防に大きな声援を贈り盛り上がりました。

後半は、双方の一進一退の攻防が繰り広げられましたが、攻守に安定感のあった神村学園は相手のシュートを最小限に抑え込み、そのまま逃げ切りました。

天気予報では試合開始前までは雨の予想でしたが、それよりも早く雨も上がり晴天の中で試合が行なわれました。気温も上昇し、快適なサッカー日和となり、楽しい応援会となりました。

昨年に引き続き、年末の良い結果をもらって正月も楽しくなることでしょう。そして今年こそ、神村学園がチャンピオンに輝くことを期待したいと思います。



2024
1/9
~12

恒例の「安納芋 焼き芋チャリティー販売会」を開催！ 過去最高の売り上げ達成！！

第10回目を迎えた浦和競馬場における「安納芋 焼き芋チャリティー販売会」を、穏やかな晴天で迎えた1月9日（火）から12日（金）までの4日間、開催しました。

新型コロナウイルス感染症も昨年5月に5類へ移行されたこともあり、競馬を楽しむファンも、昨年に比較してかなり増えた印象もありました。



今回は焼き芋機を3台から4台に増やしたこともあって、今までより多くの販売が可能となりました。さらに確保した安納芋は、昨年よりやや大きなものとなりました。諸物価高騰ということもあり、販売価格も300円とさせていただきますが、会場を訪れた人たちも

納得して購入しておられたように感じました。

家族連れや若い人たちの来場が毎年多くなっているようです。そのようなこともあってか、今回の売り上げは昨年を大きく上回り445,122円という過去最高金額になりました。

すっかりおなじみとなったこの販売会については、競馬場関係の皆様にも大きな応援をいただきました。また当会員をはじめ、関東鹿児島県人会連合会の皆様、さらには鹿児島県や鹿児島市の東京事務所の皆様も駆けつけていただき、一緒にPRしていただきました。

埼玉新聞社・南日本新聞社にも取材を受けて、記事として掲載もしていただきました。

竹之内理事長も「この販売会を通してふるさとの宣伝ができることはありがたいし、地元の競馬ファンの皆様との交流を通して、このようなイベントで楽しい思い出を作っただけなら嬉しいことです」と取材に答えていました。

この売上金全額をさいたま市社会福祉協議会に寄付させていただきます。



2024
1/13
・14

プロバスケットボール・B3リーグ「鹿児島レブナイズ」 の試合観戦で盛り上がる!!

1月13日（土）と1月14日（日）の両日、所沢市市民体育館で行われたプロバスケットボール・B3リーグの観戦に行ってきました。対戦相手は地元・埼玉の「さいたまブロンコス」で、同リーグでも上位の強豪でした。

1月13日の試合では、鹿児島レブナイズの各選手が粘る戦いで、第3QTRまではわずか1点差の接戦でしたが、最終の4QTRでは、さいたまブロンコスの激しい攻撃により、78対87で敗れてしまいました。

観戦した（当NPO法人の）齋田ゆう子理事は「はじめての観戦。しかもアウェーということでしたが、鹿児島から駆けつけたファンの皆さんも一緒に応援しました。しかしルールがあまりよくわかっていないので「？」マークがいっぱいでしたが、赤井田直幸 副幹事長に教えてもらいながらの観戦は、とても興奮しました！」と感想を述べていました。

また2日目には、関東鹿児島県人会連合会の事務局の皆さんも応援に駆けつけて、人目を惹く当NPO法人の法被を着こみ、熱の入った応援を繰り広げました。

この日の鹿児島レブナイズは、持ち前の攻撃力全開で、次々と3ポイントシュートを決めます。成功率は、なんと48%!! そのたびに会場は大きな声援と拍手で盛り上がっていました。結果、107対77で大勝。前日の雪辱を果たしました。



やはりスポーツ観戦は“生”に限ります。

B3リーグの上位で活躍している鹿児島レブナイズの、今後の活躍に期待しましょう。



2024
2/3

種子島出身・島津海関の 新入幕昇進パーティーに参加しました！

2月3日（土）、新入幕を果たした郷土力士である幕内・島津海関の「新入幕昇進パーティー」に、当NPO法人のメンバーも参加しました。

会場の両国国技館・地下大広間は、幕内昇進のお祝いに後援会やファンの方々など総勢300人余りの参加があり満杯状態で、たいへん活気に溢れていました。

島津海関は、種子島（西之表市）出身で、同郷の元大関・若島津（中種子町）の松ヶ根部屋に入門。十両昇進を目前としながら幾度かのケガをしましたが、2年前に新十両。今年1月場所で見事に幕内に昇進しました。

後援会長や現・放駒親方（元関脇・玉乃島関）のご挨拶に続き、幕内・一山本関がモデルとなった「髪結い実演」などが披露されました。そして抽選会があり、当NPO法人の齋田理事が手形などをもらい、大喜びでした！最後に、島津海関が感謝のご挨拶をしてお開きとなりました。

現在、相撲界には他にも鹿児島出身の関取もおられます。ふるさとの応援は、きっと届いている



と思います。各力士が頑張っふるさとを元気づけてもらえるよう、私たちが応援していきたいと思っています。

島津海関のご挨拶

「中学3年生の時に、はじめて観戦した九州場所で、幕内の力士の土俵入りや力強い相撲に憧れ、この世界に飛び込むことを決心しました。そして、お陰様で目標であった幕内に今場所（令和6年1月場所）で昇進し、勝ち越すことができました。応援、誠に有難うございました！

ここに来るまで12年。ケガが多く諦めそうになったこともありましたが、たくさんの皆様に支えられ応援していただき、こうして土俵に立つことができいております。本当に感謝しております。

今後は、一枚でも番付が上がるように、また先代から頂いた「島津」という名前を、もっともっと大きくしていくために、自分の信ずる「相撲道」を突き進んでいきたいと思っています。今後とも応援よろしくお願いします」

2024
2/21

「安納芋 焼き芋チャリティー販売会」の売上金を さいたま市社会福祉協議会へ寄付

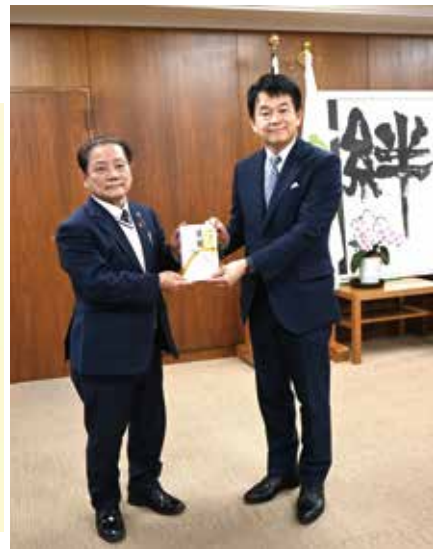
恒例の「安納芋 焼き芋チャリティー販売会」は、今年も1月9日（火）～12日（金）の4日間にわたり開催されました。

そして、今年もその売上金全額（445,122円）をさいたま市社会福祉協議会に寄付させていただきました。

2月21日（水）の午後から、竹之内康一理事長、岩元定幸副理事長、綿引愛子理事、埼玉県馬主会の島野知二事務局長で、さいたま市の社会福祉協議会会長も兼務されている清水勇人市長を訪問し、目録をお渡ししました。

清水市長からは「10年以上にわたり多額のご寄付をいただき、誠にありがとうございました。感謝いたします」とのコメントとともに感謝状を竹之内理事長に手渡されました。

「継続は力」と言われますが、当NPO法人のこの活動もすっかり定着したこともあり、埼玉新聞社やテレビ埼玉でも取り上げていただいています。また、2月18日（日）のフジテレビ「馬カルテット」という番組でも浦和競馬場が紹介され、当会の活動の様子も放映されました。そのことも含めて、多くの皆さんに応援を



2024年2月28日（埼玉新聞より）

さいたま市社協に
安納芋の売上寄付
同市鹿児島県人会
NPO法人さいたま市鹿児島県人会は21日、福祉活動支援のため、44万5122円を市社会福祉協議会に寄付した。同県人会の竹之内康一理事長から清水勇人市長（同市社協会長）に目録を手渡し、清水市長から感謝状が贈られた。

寄付金は同県人会が1月9～12日に南区の浦和競馬場で販売した安納芋の売上金。同県人会が主催するチャリティー販売会は今回で10回目を迎えた。安納芋は鹿児島県種子島産のイモを使っている。清水市長は「イモの販売は競馬の違う楽しみ方にもなる」と話し、竹之内理事長は「今年度のイモは出来が良く、お客さんからの評判も良かった」と話した。10回目を迎えた販売会を振り返り「始めたころと比べると客層が若く、子連れも増えた。これを機にさいたまと鹿児島が交流できたら」と語った。（佐藤一輝）

2024年(令和6年)1月13日 土曜日 (南日本新聞より)

第二の故郷に恩返し

さいたま市在住の鹿児島県出身者らでつくるNPO法人さいたま市鹿児島県人会は、同市の浦和競馬場で種子島産安納芋のチャリティー販売会を開いた。第二の故郷への

恩返しと、「本物の安納芋のおいしさを知ってほしい」との思いで回を重ね11回目。益金は市の社会福祉協議会に全額寄付する。販売会は9～12日の4

県人会 埼玉で
安納芋を販売

日間で、毎年この時期に開催している。約500%の芋はNPO理事長で、埼玉県馬主会会長でもある西之表市出身の竹之内康一さん(72)が提供した。関東鹿児島県人会連合会や関東種子島会のメンバーからも応援に駆け付け、焼き芋にして1個300円で販売した。香ばしい匂いに誘われ、レースの合間になると多くの来場客が買い求め、ねっとりとした甘い味わいを楽しんだ。

竹之内さんは「年明けの恒例行事で楽しみにしてくれている人も多い。種子島と埼玉という二つの故郷をつなぐ架け橋となる活動を続けていきたい」と話した。（吉松晃子）

安納芋を手渡す竹之内康一さん(左)＝11日、さいたま市の浦和競馬場



頂けるようになりました。

竹之内理事長から清水市長には「この活動で、さいたま市と鹿児島の絆も深まった感じがします。更にこれを深めて、海のない“さいたま”の子供たちが種子島などに短期留学して自然の海のすばらしさも感じていただけるようになれば、さらに嬉しいですね」と語られました。

今後とも当会の活動が継続できるよう、そしてさらに強い「絆」となるように頑張りたいと思います。



ふるさとの景色



令和6年度事業計画書

NPO 法人さいたま市鹿児島県人会

1 事業実施の方針

私たちの設立趣旨でもある、鹿児島にゆかりのさいたま市在住の方とさいたま市民との相互の交流をはかり、もって地域社会との連携ならびに文化を振興することを目的とし、そのための交流会や研修会に関する事業を行う。

法人の理念に賛同してもらえる方を増やし、昨年度に引き続き事業を円滑に実施する中で活動を拡充していく。

2 事業の実施に関する事項（令和5年10月1日～令和6年9月30日）

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲人数		支出額(千円)
鹿児島県とさいたま市に関する情報の収集およびその公開と発信	ホームページ、SNS等を利用した情報の発信	随時	—	5名	不特定多数		300
	会報誌の発行	令和6年3月末	—	10名	社員及び関係者、他	600名	450
	Uターン、Iターンに関する各種情報の提供	随時	法人事務所	2名	相談希望者	年に数名	0
会員ならびに地域社会との交流とそれらに対する研修	安納芋のチャリティ販売会	令和6年1月浦和競馬開催期間	浦和競馬場	70名	競馬場来場者	不特定多数	970
	鹿児島県に関する講演会やフォーラムの開催	未定	市内	5名	社員及び一般参加者	30名	200
	交流会の開催(懇親会)	令和5年10月9日	浦和ワシントンホテル	10名	社員	100名	650
青少年を対象とした相互交流事業	さいたま市、鹿児島県の子供たちが行き来し普段触れない文化を体験する相互交流事業	年1回	鹿児島・さいたま市	10名	社員及び一般参加者	10名	0
	高校サッカー応援ツアー	年末年始	試合会場	5名	社員及び一般参加者	10名	0
	鹿児島レブナイズ応援ツアー	年1回	試合会場	5名	社員及び一般参加者	10名	0
	鹿児島ユナイテッドFC応援ツアー	年1回	試合会場	5名	社員及び一般参加者	10名	0
県内外の鹿児島県人会とのネットワークの推進	埼玉県鹿児島県人会及び他の鹿児島県人会との交流会の開催	随時	各所	—	社員	4名	0
	関東鹿児島県人会連合会との交流会の開催	随時	各所	—	社員	14名	0

特定非営利活動法人さいたま市鹿児島県人会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人さいたま市鹿児島県人会という。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市内に置く。

(目的)

第3条 この法人は、鹿児島にゆかりのさいたま市在住の方と、さいたま市民相互の交流をはかり、交流会や研修会に関する事業を行うことにより、もって地域社会との連携ならびに文化を振興することを目的とする。

(活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

1. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
2. 子どもの健全育成を図る活動

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

1. 特定非営利活動に係る事業
 - ① 鹿児島県とさいたま市に関する情報の収集およびその公開と発信
 - ② 会員ならびに地域社会との交流とそれらに対する研修
 - ③ 県内外の鹿児島県人会とのネットワークの推進
 - ④ 青少年を対象とした相互交流事業

第2章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種類とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体

(入会)

第7条 会員の入会については、特に条件を定めない。

2. 会員として入会しようとするものは、入会申込書を理事長に提出し、理事長の承認を得なければならぬ。

なければならない。理事長は、会員の申込みについては、正当な理由がない限り入会を認めるものとするが、入会を認めない場合は、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を理事長に提出し、任意に退会することができる。

- 2 会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。
 - (1) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
 - (2) 会費を1年以上滞納したとき。
 - (3) 除名されたとき。
 - (4) 退会の申出があったとき。

(除名)

第10条 会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、総会において、正会員総数の3分の2以上の議決により、これを除名することができる。ただし、その会員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 法令、定款に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(抛出金品の不返還)

第11条 会員が納入した入会金、会費及びその他の抛出金品はその理由を問わず、これを返還しない。

第3章 役員

(種別)

第12条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 5人から15人まで
- (2) 監事 2人
- 2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。
- 3 理事及び監事は、総会において選任する。
- 4 理事長、副理事長は、理事の互選により定める。
- 5 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員総数の3分の1を超えて含まれることにはならぬ。

い。

6 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

(職務)

第13条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

2 理事長以外の理事は、法人の業務について、この法人を代表しない。

3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき、又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によりその職務を代行する。

4 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

5 監事は、次に掲げる職務を行う。

(1) 理事の業務執行の状況を監査すること。

(2) この法人の財産の状況を監査すること。

(3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。

(4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。

(5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、意見を述べ、又は理事会の招集を請求すること。

(任期)

第14条 役員任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 前2項の規定にかかわらず、任期の末日において後任の役員が選出されていないときは、その任期を、任期の末日後、最初の総会が終結するまで延長する。

(欠員補充)

第15条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第16条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の議決により、これを解任することができる。但し、その役員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反その他役員としてふさ

わしくない行為があったとき。

(報酬等)

第17条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

第4章 総会

(種別)

第18条 この法人の総会は、通常総会と臨時総会とする。

(構成)

第19条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第20条 総会は、以下の事項について議決する。

(1) 定款の変更

(2) 解散及び解散した場合の残余財産の帰属

(3) 合併

(4) 事業計画及び活動予算並びにその変更

(5) 事業報告及び活動決算

(6) 役員選任又は解任、職務及び報酬

(7) 入会金及び会費の額

(8) 長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄

(9) 事務局の組織及び運営

(10) 会員の除名

(11) その他運営に関する重要事項

(開催)

第21条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

(1) 理事会が必要と認めたとき。

(2) 正会員の5分の1以上から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。

(3) 監事が第13条第5項第4号の規定により招集したとき。

(招集)

第22条 総会は、理事長が招集する。但し、前条第2項第3号の規定による場合は、監事が招集する。

2 理事長は、前条第2項第2号の規定による請求があった場合は、その日から30日以内に臨時総会を開かなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電子メ

ールをもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第23条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第24条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第25条 総会における議決事項は、第22条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議決事項は、この定款で定めるもののほか、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

3 理事又は正会員が総会の目的である事項について提案した場合において、正会員の全員が書面又は電子メールにより同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の総会の議決があったものとみなす。

(書面表決等)

第26条 やむを得ない理由のため、総会に出席できない正会員は、あらかじめ書面又は電子メールをもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

2 前項の場合における第24条、第25条第2項、第27条第1項第3号、第50条の規定の適用については、その正会員は総会に出席したものとみなす。

3 各正会員の表決権は平等なものとする。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議決に加わることができない。

(議事録)

第27条 総会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員の現在数
- (3) 出席した正会員の数（書面等表決者及び表決委任者については、その旨を明記すること。）
- (4) 議長の選任に関する事項
- (5) 審議事項
- (6) 議事の経過の概要及びその結果
- (7) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、その会議において出席した正会員の中から選任された議事録署名人2名以

上、議長とともに署名押印しなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面若しくは電子メールにより同意の意思表示したことにより、総会の議決があったものとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 総会の議決があったものとみなされた事項の内容
- (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称
- (3) 総会の議決があったものとみなされた日
- (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

第5章 理事会

(構成)

第28条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第29条 理事会は、この定款で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(開催)

第30条 理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めるとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上の理事から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。
- (3) 第13条第5項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第31条 理事会は理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2号の規定による請求があったときは、その日から15日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電子メールをもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第32条 理事会の議長は、理事長が当たる。

(議決等)

第33条 理事会の議決事項は、第31条第3項の規定により、あらかじめ通知された事項とする。

2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(定足数)

第34条 理事会は、理事総数の過半数の出席がなければ開会することができない。

(議事録)

第35条 理事会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事の現在数及び出席した理事の氏名(書面等表決者については、その旨を明記すること。)
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、その会議において出席した理事の中から選任された議事録署名人名2名以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

第6章 資産、会計及び事業計画

(資産)

第36条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄附金品
- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

(資産の区分)

第37条 この法人の資産は、次の1種とする。

- (1) 特定非営利活動に係る事業に関する資産

(資産の管理)

第38条 資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(経費の支弁)

第39条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

(会計の原則)

第40条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げ

る原則に従って、行うものとする。

(会計の区分)

第41条 この法人の会計は、次のとおり区分する。

- (1) 特定非営利活動に係る事業に関する会計

(事業計画及び予算)

第42条 この法人の事業計画及び予算は、理事長が作成し、総会の承認を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

(予備費の設定及び使用)

第43条 前条に規定する予算には、予算超過又は予算外の支出に充てるため、予備費を設けることができる。

- 2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第44条 第42条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。

- 2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(事業報告及び決算)

第45条 理事長は、毎事業年度終了後速やかに、事業報告書、財産目録、貸借対照表、活動計算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

- 2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(長期借入金)

第46条 この法人が資金の借入れをしようとするときは、その事業年度の収益をもって償還する短期借入金を除き、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第47条 この法人の事業年度は、毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第7章 事務局

(設置)

第48条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。
- 3 事務局の職員は、理事長が任免する。

(書類及び帳簿の備置き)

第49条 主たる事務所には、法第28条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかなければならない。

- (1) 会員名簿及び会員の異動に関する書類
- (2) 収益、費用に関する帳簿及び証拠書類

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第50条 この定款の変更は、総会に出席した正会員の4分の3以上の議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する事項を変更する場合には、所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第51条 この法人は、次に掲げる事由によって解散する。

- (1) 総会の決議
 - (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
 - (3) 社員の欠亡
 - (4) 合併
 - (5) 破産手続開始の決定
 - (6) 所轄庁による設立の認証の取消し
- 2 総会の決議により解散する場合は、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。
- 3 第1項第2号の事由により解散する場合は、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の処分)

第52条 解散後の残余財産は、法第11条第3項の規定に掲げるもののうち、総会で議決したものに帰属させるものとする。

(合併)

第53条 この法人が合併しようとする時は、総会において正会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第9章 雑則

(公告)

第54条 この法人の公告は官報により行う。ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、当法人のウェブサイトに掲載して行う。

(施行細則)

第55条 この定款の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附 則

- 1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。
- 2 この法人の設立時の会費は、この定款の規定にかかわらず、次の各号に掲げるものとする。
 - (1) 正会員
会費 年額 3,000 円
 - (2) 賛助会員
会費 年額 10,000 円
- 3 この法人の設立初年度の事業計画及び予算は、第42条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
- 4 この法人の設立初年度の事業年度は、この定款の規定にかかわらず、成立の日から平成27年3月31日までとする。
- 5 この法人の設立当初の役員は次のとおりとする。

理 事 長	竹之内 康一
副理事長	南 健蔵
副理事長	川畑 正邦
理 事	中迎 聡
理 事	稲村 浩子
理 事	赤井田 直幸
理 事	吉竹 直行
理 事	西 良純
理 事	小野寺 安子
理 事	下園 典子
監 事	岩崎 和泉
監 事	安田 昭夫
- 6 この法人の設立当初の役員の任期は、この定款の規定にかかわらず、成立の日から平成27年6月30日とする。

付録

改定履歴

2014/10/25 第3章第12条

(1) 5人から12人 → 5人から15人

2016/06/07 第6章第47条

毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

→毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

2017/10/09 第9章第54条

公告は官報により行う。

→公告は官報により行う。ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、当法人のウェブサイトに掲載して行う。

協賛広告

広告の協賛に深く
感謝申し上げます。
会の運営に大切に
役立たせていただきます。



第27回 渋谷・鹿児島

おはら祭

道玄坂・文化村通り踊りパレード

SHIBUYA KAGOSHIMA
OHARA FESTIVAL 2024

5月18日(土)・19日(日)
鹿児島焼酎&
ミュージックフェスin渋谷

令和6年
5月
18日(土)
19日(日)

5月19日(日)
本祭り
おはら祭 踊りパレード(小雨決行)
12:50~16:15

5月18日(土)・19日(日)
さつまの物産展
ユニクロ渋谷道玄坂店前 10:00~17:00

渋谷・鹿児島の観光案内

お子さんからお年寄りまで
人に優しいお祭りを



主催：渋谷・鹿児島
おはら祭実行委員会

Tel 03-6712-7501 Fax 03-6712-7502

構成団体：渋谷区／鹿児島市／渋谷区商店会連合会中央ブロック
一般財団法人 渋谷区観光協会／NPO法人 渋谷・鹿児島文化等交流促進協議会

理事
副幹事長 **赤井田 直幸**

勤務先 〒339-0035

埼玉県さいたま市岩槻区笹久保

新田 一六〇一三

TEL 〇四八七九一七三七

FAX 〇四八七九一七三七

株式会社竹之内工務店 工事部長

携帯 〇九〇七八二一九九七八

理事 **新島 次男**

自宅 〒337-0053

さいたま市見沼区大和田町

一四四一三三

TEL 〇四八六八三六四〇六

携帯 〇九〇七四一六一三七八

監事 **岩崎 和泉**

自宅 〒186-0003

東京都国立市富士見台四一四一三〇四

携帯 〇九〇一四二二一〇三一八

副理事長
幹事長 **岩元 定幸**

自宅 〒330-0834

さいたま市大宮区天沼町二一〇一五二

TEL 〇九〇八五八一一九五五

E-mail myes-iwanoto@jcom.zaq.ne.jp

理事 **綿引 愛子**

自宅 〒330-0064

さいたま市浦和岸町四二六六一六〇四

〈種子島応援〉

E-mail aiko_watahiki@adcyberhome.ne.jp

理事 **齊田 ゆう子**

自宅 〒336-0907

さいたま市緑区道祖土四一七一七

携帯 〇九〇四六一三四九三五

E-mail yuuko929306@gmail.com

副理事長 **西 良純**

自宅 〒330-0852

さいたま市大宮区大成町

一五五八一四〇六

TEL 〇四八六六五二二五七

携帯 〇九〇七一九二八七五〇

理事 **下園 典子**

自宅 〒102-0072

東京都千代田区飯田橋二四一三〇二

携帯 〇九〇三三三二五八八八九

理事 **戸谷 勤**

勤務先 〒174-0063

東京都板橋区前野町一五三〇三

携帯 〇九〇九八四六〇七〇二九

E-mail support@mantendo-honpo.com

満天堂本舗 www.mantendo-honpo.com

事務局長 **赤井田 裕樹**

勤務先 〒339-0035

埼玉県さいたま市岩槻区笹久保

新田 一六〇一三

TEL 〇四八七九一七三七

FAX 〇四八七九一七三七

株式会社竹之内工務店 常務取締役

携帯 〇九〇四七三〇一八五一六

理事長 **竹之内 康一**

勤務先 〒340-0815

埼玉県八潮市茜町一七七一

マックスタワーTX二一三〇三

TEL 〇四八九九五四一二五

FAX 〇四八九九五四四八三

株式会社竹之内工務店 代表取締役

携帯 〇九〇二六四七二二二九

理事 **森 勝幸**

勤務先 〒110-0016

東京都台東区台東一三三二七

TEL 〇三三三三二四〇三〇

FAX 〇三三三三二四〇三〇

株式会社タカラニコ代表取締役

携帯 〇九〇六一三五五三八三

理事 **千野 恵子**

自宅 〒330-0054

さいたま市浦和区東岸町

一八一八一四〇九

TEL 〇四八八八二二二四〇

携帯 〇九〇二四八二五二二七

監事 **脇 孝喜**

自宅 〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町

四七五九一三五〇八

携帯 〇九〇一八八〇〇一三五〇二

ね

ねがはずば
隔てもあらじ
いつはりの
世にまことある
伊勢の神垣

どんなにうそいつわりの多い世であつても、神様は（伊勢の大神）公平に見ておられるから、人々が無理なお願いさえしなければ、人によつてわけへだてをなさるようなことはあるまい。

島津日新公

いろは歌より

コラーゲンたっぷりで女性客増加中!!

ジンギス館 ひっぴろ

年中無休 Open17:00 ※ Close 24:00

豊島区西池袋 1-35-4 ネスパビル 1・2F

TEL03-3934-1070



従業員募集中



M&A Biz
Station

M&A 支援機関登録(中小企業庁)

株式会社 M&A Biz

代表取締役 辻松 律 男

(薩摩郡さつま町出身)

事業承継対策支援キャリア 35年と

M&A実務のキャリア22年の実績と経験!

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2

東京サンケイビル 27階

TEL 03-3242-6255 FAX 03-6800-3200

□ <https://mabiz.jp> □ E-mail: support@mandabiz.jp



関東阿久根会

カイチョウ ナカツハマ ツヨシ
会長 中津濱 健

関東阿久根会の総会は2023年10月15日(日)を予定しています。阿久根が故郷やそのご友人など大勢のご参加をお待ちしております。下記事務局にご連絡いただくと案内状をお送り致します。

事務局：紅林美枝子 携帯 090-1694-5497
〒166-0015 東京都杉並区成田東1-14-11
E-mail mieko823@ezweb.ne.jp

よかどし

錦江町関東大根占・田代会

会長：岩元定幸
副会長：斜木幹郎 西中川良治
会計：木之下洋文
幹事長：馬込 満

幹事会、錦江町大根占・田代踊りたい♪一同



6月30日(日)アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて総会開催

事務局：馬込 満 TEL：090-1467-0851



国土交通大臣許可（特・般-4）第17403号

南国殖産株式会社

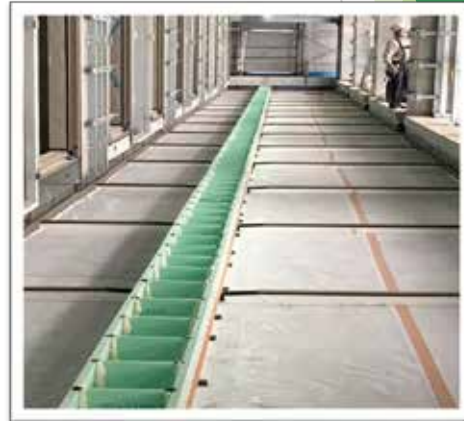
東京支店 建材課 関東営業所

(株)HMコーポレーションは南国殖産となりました。

南国殖産(株)は従来の概念にとらわれない発想で、
安定した工法を構築し、それにもなう製品の開発をおこなっています。



防水立上乾式パネル工事
(HMプロテクターシステム)



伸縮目地工事
(HMドライ目地ユニティ&コンビ)



代表取締役

福留 準 一

FSK 東京・埼玉 指定給水装置事業者
有限会社 福留設備工業

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-3-11
048-481-7476 048-481-7622
090-3062-6270
fukudomesetubi@jcom.home.ne.jp

蘭田俊和税理士事務所

税理士 蘭田俊和

〒160-0022
東京都新宿区 新宿5丁目1-19
藤和新宿番衆町コープ304号
電話 03-6457-4012
携帯 090-2744-0208
E-mail : sonoda@iaa.itkeeper.ne.jp



関東鹿児島県人会連合会

事務局長 丸山光則
広報委員長

関東市来会 幹事長

〒141-0021 東京都品川区上大崎1-20-27 三州郷土館内
TEL 03-5422-6350 : FAX 03-5422-6353
携帯電話 080-5530-0855
Eメール : info@kagoshimakenjinkai.ne.jp

南 関東ふるさと会

さつま市

令和6年7月28日(日) ホテルエドモントにて
第6回 総会・懇親会を開催いたします



じゃつど!
おつど!!
きばつど!!!

吹上浜砂の祭典

名誉会長 本坊 輝雄 会長 坂上 光之
幹事長・事務局長 下園 典子

事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-7 東専堂ビル5F
株式会社 盈進社 内
TEL 03-3262-3471(代) FAX 03-5210-7226
Eメール: info@eishinsya.co.jp

関東伊佐会



曾木の滝

大口と菱刈、其々のふるさと会が一緒になってから来年度は10年。次回の関東伊佐会総会は令和6年11月9日(土)を予定しております。澄んだ空気、うんまか米と焼酎で、これからも楽しく!

会長 緒方 優
副会長 池畑 貢 深渡瀬 猛 小松 隆
幹事長 松永 達郎
事務局 仙田山 ladybird0507@gmail.com
齊 田 yuuko929306@gmail.com

関東さつま南の会



たおやかに
薩摩女が踊る
おはら節
淡谷に集ふ
ふるさとの友



会長・連長 下園 典子
副会長 中村 光子
副会長 大平キヨ子



NPO法人さいたま市鹿見島
県人会総会で踊らせていただき
いております

【事務局】 〒102-0072
東京都千代田区飯田橋1-5-7-5F
盈進社内 TEL03-3262-3471

日昇製糖工場

代表者 中村 健次



〒891-3103 鹿児島県西之表市現和 3305-2
TEL 0997-25-0079 FAX 0997-25-1101
ホームページ <https://nissho.raku-uru.jp/>

関東種子島会

会 長 桑 山 貢
副 会 長 福 山 久美子 上 妻 英 一
綿 引 愛 子
幹 事 長 園 田 東
相 談 役 竹之内 康 一
事 務 局 長 森 勝 幸

【事務局】

〒110-0016 東京都台東区台東1-23-7 株式会社タカラニコー内
T E L : 03-3831-4030 F A X : 03-3831-4034



医療法人杏樹会
池田内科眼科クリニック

内科、小児科、循環器科、眼科

院長・理事長 池田基昭
〈中種子町出身〉

住所：埼玉県熊谷市原島935-1
TEL：048-520-2900
FAX：048-520-2902
Mail：ikedata@sakitama.or.jp



湘南南洲会

会長 河野 英一

日本大学名誉教授 農学博士
関東鹿児島県人会連合会・副会長
関東阿多会・会員

〒251-0047
神奈川県藤沢市辻堂5-2-23
TEL：0466-36-1663

日帰り白内障手術・緑内障診療なら
「この眼科クリニック」

院長 河野 智英子

〒251-0047
神奈川県藤沢市辻堂1-2-2
リストレジデンス辻堂タワー 3F
TEL：0466-37-0881

さい くに
彩の国

埼玉県鹿児島県人会



名誉会長 中島治三郎

会長 福留準一

幹事長 辻松律男

事務局長 遠矢哲至

副会長・各単位県人会会長

谷山啓一 所沢市鹿児島県人会

佐枝史朗 上尾市鹿児島県人会

竹之内康一 NPOさいたま市鹿児島県人会

上萬隆樹 埼玉県東部地区鹿児島県人会

野元千歳 深谷市鹿児島県人会

福留準一 新座市鹿児島県人会

鳥山三三 和光・鹿児島県の会

関屋一馬 川越市鹿児島県人会

(会長代行)

2023年2月現在

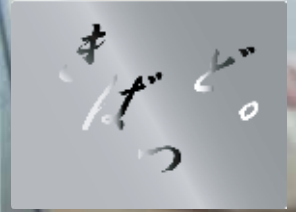


KEYBIND

豊富な経験に裏付けられた 最適なシステム開発支援

キーバインドは、金融機関（損保・生保・銀行等）向け業務システム開発・支援を柱として、SE業務支援、ソフトウェア受託開発、システム運用サポート、インフラサポート、システムコンサルティング、Webシステム開発など、システム開発におけるプランニング・開発支援を行います。

スマホやタブレット端末を用いて情報提供サービス・プラットフォームを作成するパッケージソフト「スマートバインド」を販売しています。



「きばんど」は、鹿児島の方言です。「頑張る！ 気張れ！」と自分を励まし、相手にエールを送る言葉です。当社は、これをもじって「キーバインド」を社名にしており、「バインド：Bind」は「結合する、つなぐ」という意味があります。企業の要は、人・物・金の集合体です。私たちは「企業と企業」、「人と人」が、大きな目的を持って共存共栄できる企業を目指します。

株式会社キーバインド 代表取締役 坂元 隆也

URL : <https://www.keybind.com>

本社

〒171-0033 東京都豊島区高田 3-18-11
シルヴァー高田馬場ビル 4F
TEL : 03-5928-9021 FAX : 03-5928-9022
E-mail : info-kkb@keybind.com

鹿児島
営業所

〒892-0821 鹿児島県鹿児島市名山町 9-15
マークメイザン 303
TEL : 092-248-9985 FAX : 099-248-9986
E-mail : info-kkb-k@keybind.com



千座の岩屋



潮の引いた千座の岩屋



種子島宇宙センター

関東鹿児島県人会連合会

広報委員会 副幹事長

関東種子島会

副会長

福山 久美子

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 4-25-2-801

TEL:090-3102-2432

吟醸香。青リンゴの香りと

池がはじけるたびに青リンゴ香る
炭酸割り
推奨



詳しくはこちら「彩響」特設サイト



薩摩酒造株式会社

お酒は20歳を過ぎてから。お酒は適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

地理的表示
薩摩
SATSUMA
SHOCHU

本格焼酎

さつま
鶴



小正醸造株式会社 <http://www.komasa.co.jp/>

HAMADA
DESIGN
Visual Identity Consultant

Corporate Identity System Design

浜田デザイン

東京都板橋区東坂下2-10-7
ウイスタリアマンション E3 〒174-0042
T:03(3965)9114 携:090(8436)2899
E-mail:hamada@hamada-design.net

- コーポレート・アイデンティティの開発
- シンボルマーク・ロゴマークの制作
- ポスター・パンフレット・チラシの制作
- パッケージ・各種印刷物の企画制作

営業本部 宿泊営業部
東京営業所 所長
有川 和暢

SHIROYAMA HOTEL kagoshima
城山観光株式会社
〒103-0027
東京都中央区日本橋3-15-2
鹿児島ビル10F

美しき森、美しき時



SHIROYAMA HOTEL
kagoshima

TEL 03-5201-5553
FAX 03-5201-5557
携帯 090-9597-0717
E-mail: arikawa@shiroyama-g.co.jp
<https://www.shiroyama-g.co.jp>

西郷隆盛敬天愛人の会

会長 平山徳廣

〒203-0051
東京都東久留米市小山1-8-9
Tel/Fax 042-475-1248



豊富な経験と実績で高い品質の組版を実現する

何を創るかはおまかせします。

知的創造

どのように造るかをお手伝いします。

必要な時に、必要なだけ

水はその源からコンコンと湧き出て、昼も夜も休むと
きがない。しかも流れは、
窪みがあれば、まずその穴
を満たして後、溢れ出て四
海まで進む。その様はあた
かも根本を内に養って、し
かる後に活動する人の姿に
以ている

〔孟子〕離婁下より

源泉混混として、
昼夜を舍かず。
科に盈ちて
面る後に進み、
四海に放る。

Eishin

株式会社

えい しん しゃ
盈進社

代表取締役社長 下園典子
(南さつま市出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-7 東専堂ビル5F

TEL 03-3262-3471(代) FAX 03-5210-7226

URL : www.eishinsya.co.jp Eメール : info@eishinsya.co.jp

悠久の歴史と

大自然の中で

育まれた

本物の素材



鹿児島の大自然の中で育まれた
安全・安心な鹿児島黒牛
鹿児島黒豚・黒さつま鶏、厳選された
鹿児島ブランドをここ銀座にて
存分にお楽しみ下さい

鹿児島華蓮

KAGOSHIMA KAREN

鹿児島黒牛・黒豚

鉄板焼・せいろ蒸し・しゃぶしゃぶ

銀座店

GINZA

東京都中央区銀座8-8-8銀座888ビル9階

TEL.03-3572-3153

営業時間のご案内

【ランチ】11:30~14:00 (LO 13:30)

【ディナー】17:30~22:00 (LO 21:00)

定休日：日曜日・祝日

JA鹿児島県経済連直営



祝 西郷隆盛生誕祭(197才)のご案内

令和 6 年 12 月 8 日 (日)

上野公園西郷隆盛銅像前
時間 AM 10:30 ~ 12:20

奏楽：バイオリン演奏

祭事：玉串奉奠・尺八演奏・詩吟・舞踊



令和 5 年 12 月 3 日 196 才の生誕祭のひとこま



祭文読み上げ
代表 内 弘志



塩田康一鹿児島県知事

主催 西郷隆盛に学ぶ『敬天愛人フォーラム21』

事務局 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-22-6・4F TEL 03-3252-3153

<https://www.keiten-aijin.com/>

代表世話役 内 弘志 携帯 090-8642-1717

私たちはPOP*のスペシャリストです。

小さなものから大きなものまで
お客様の要望を形に。

デザインから制作、納品まで
専門スタッフがバックアップ。

* 小売業の店頭プロモーション施策として展開される広告ツール



POP専門会社
株式会社 タカラニコー

〒110-0016 東京都台東区台東1-23-7 TEL:03-6812-6901/FAX:03-3831-4034
<http://www.takaranikoh.co.jp/>

繋がってる

鹿児島県立 種子島中央高等学校 情報処理科 3年『電子商取引』、2年『広告と販売促進』の授業にて、
東京(タカラニコー本社)と種子島(種子島中央高校)をスカイプで繋げてCADの作図、段ボール制作の支援を行っています。

南日本運輸倉庫グループ

南日本運輸倉庫株式会社

代表取締役 大園博史

〒164-0001
東京都中野区中野四一四一十一
第十二南日本ビル十階
電話 03(3388)6998

冷凍倉庫業 昭和冷凍株式会社

総合物流業 株式会社関東デイリー

不動産賃貸業 南国興産株式会社

損害保険事業 株式会社あんしんサポート保険

不動産管理業 キヤニオンサービス株式会社

道の駅 あらい道の駅株式会社

人材派遣業 株式会社アシスト

自動車整備業 有限会社東京自動車

ゴルフ場 初穂カントリークラブ
太田双葉カントリークラブ

ゴルフ練習場 ジャンボゴルフガーデン
ゴルフセンター 金沢

宮城スポーツ

ホテル 白沢高原ホテル
東横イン群馬太田駅南口



初穂カントリークラブ

上毛連山を一望できる絶好の高原ロケーション。
丘陵地でありながらティーランドからグリーンまでを見渡せる、
高低差の少ない設計。
フラットで雄大なチャンピオンコースをぜひお楽しみ下さい。



白沢高原ホテル
山紫水明の地に身を置く安らぎに、都会的なエッセンスを調和させた癒しのリゾート。

初穂美肌の湯
白沢の恵み深い山麓から湧出する、源泉かけ流しのアルカリ性単純温泉。

6 0 4 3
IKEBUKURO
T O K Y O

総合力で全てを突破する会社



サンシャイン60に本社を置いて45年



株式会社ファクト

FACT CORPORATION LTD.

本社 〒170-6043 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 43F
TEL:03(3982)3316(代)

建設業許可 般-5 第135529号
特定建設業 特-5 第135529号
有料職業紹介事業 13-ユ-305742
一般労働者派遣事業 派13-302583

関東鹿児島県人会連合会

50周年を迎えました



連合会は関東地区で活動する
単位鹿児島県人会との交流を図り、
合わせて郷土の発展に寄与することを
目的としています。

名誉会長	中島 治三郎	副会長	井上 脩士
会長	原口 悟郎	〃	桑山 貢子
副会長	池田 勇夫	〃	下園 典善
〃	大園 博史	〃	中住 善隆
〃	坂元 隆也	〃	福留 準一
〃	重信 眞一	〃	山田 悟和
〃	島田 行信	監事	蘭田 俊男
〃	河野 英一	〃	宮川 幸三
〃	橋口 行則	〃	牛原 元雄
〃	前田 義美	幹事長	岩元 定幸
〃	緒方 優	事務局長	丸山 光則
〃	竹之内 康一		

事務局：〒141-0021 東京都品川区上大崎1-20-27 三州郷土館内

電話：03-5422-6350

メール：info@kagoshimakenjinkai.ne.jp

H P：https://kagoshimakenjinkai.org/

おいどん不動前店は『薩摩肉専門』

地元 鹿児島でも希少な

鹿児島黒牛 日本一!

六白黒豚

黒毛和牛

鹿児島 第3の黒

黒さつま鶏

黒火子

FUDOMAE
OIDON

おいどん

日本一
鹿児島
黒牛

産地直送!本物 九州料理 薩摩古民家風の店内 郷土料理と地酒に 癒しを求めて...

懇親会・歡送迎会・ふるさと会・各種ご宴会承ります

圧巻の品揃え! 種類豊富な本格焼酎・厳選地酒 入手困難で希少な秘蔵酒もごぞいます

年中無休! 毎日営業中

《薩摩肉専門》鹿児島
郷土料理居酒屋 黒×3

おいどん不動前店

TEL03-3493-1288

品川区西五反田4-30-9-B1F ◇東急目黒線「不動前」駅すぐ
★都心と直通★不動前駅 東京メトロ南北線・都営三田線の直通電車あり



お庭の見える人気席など
2~60名様お席多数!

毎日 朝4時まで営業中
2~40名様お席多数!

古民家居酒屋

おいどん西新宿店

TEL03-3320-7071 大人数フロア貸切も承り中

新宿区西新宿5-10-13 ◇都営大江戸線「西新宿五丁目」駅1分
アットホームな3階建て古民家一軒家 御一人様也大歓迎!



ランチタイムから営業中!
心落ち着く和モダン古民家

古民家郷土料理

市川おいどん

TEL047-329-1505

千葉県市川市真間1-16-9 ◇JR「市川」駅5分/京成本線「市川真間」駅2分
庭園を望む癒しのパワースポット 四季折々の花々・滝・鯉の泳ぐ池



季節を彩る庭園のそばのお席
2~40名様お席多数!

素材の味を活かした
本格創作和会席コース
お料理とお酒

五万米 (ごまめ)

TEL03-6416-5571

TEL03-3476-4288 [オール・ミッキー・ジャパン(株)]

渋谷区桜丘町30-18 メイサ南平台B1F ◇JR・各線「渋谷」駅5分(渋谷セルリアンタワーのそば)

都会の喧騒を忘れさせる
大人の隠れ家



貸切のご予約のみ承ります
詳しくはお問い合わせください

料理人・ホールスタッフ募集中! 店長候補・女将候補・正社員・アルバイト お気軽にご相談ください

インドアゴルフ練習場 ゴルフスタジオH2

六町駅
徒歩2分

令和6年1月11日
ニューオープン



ゴルフスタジオ H2
GOLF STUDIO
H2

ゴルフスタジオH2

足立区六町3-6-4 2 サンリット六町II 1F

TEL 03-5851-9792

つくばエクスプレス六町駅A3出口徒歩2分

手ぶらでもOK
初心者歓迎

最新クラブレンタル
シューズレンタル
グローブレンタル
レッスンオプション

公式LINEアカウント



株式会社 竹之内工務店
代表取締役社長 竹之内康一

埼玉県八潮市茜町1-7-11 マックスタワーTX2-1303

TEL 048-995-4125

マンション型枠工事のスペシャリスト



躯体、最高品質。



株式会社 竹之内工務店

代表取締役 竹之内 康一

ホームページ <http://www.takenouti.co.jp/>

型枠大工募集中



本社 / 〒340-0826 埼玉県八潮市茜町1-7-11 マックスタワー TX2-1303

TEL: 048-995-4125 FAX: 048-995-6483

営業所 / 〒339-0035 埼玉県さいたま市岩槻区笹久保新田1160-3

TEL: 048-791-7371 FAX: 048-791-7372

担当 / 常務取締役 赤井田 裕樹